

表1. 2018/2019シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2019/03/12

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B				
	エンドヌクレアーゼ阻害薬						エンドヌクレアーゼ阻害薬						エンドヌクレアーゼ阻害薬				
	ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬				ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬				ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬		
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル
耐性株数 (%)	2 (1.6%)	5 (0.5%)	5 (0.5%)	0	0	115 (100%)	23* (24.7%)	0	0	0	0	82 (100%)	0	0	0	0	0
解析株数	125	913	913	185	185	115	93	59	59	59	59	82	6	8	8	8	8
分離・検出報告数	2,023						2,123						64				

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、I38T/M/F耐性変異をもっていた。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。

\*薬剤未投与例 3/69 (4.3%)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/flu-iasrs/8664-470p01.html>